



ウシも観戦！牧歌的な風景を駆け抜けて 第34回やくもミルクロードレース大会

6月9日、八雲スポーツ公園陸上競技場にて第34回やくもミルクロードレース大会が開催されました。ハーフマラソン、10km、5km、2kmの各部でレースが行われ、町内外の総勢約380人が参加し、大新・春日地域の牧歌的な風景が続く中、爽やかな汗を流しました。

また、レース後には八雲の特産品抽選会や、JA新函館酪農生産部会八雲支部による消費拡大運動の一貫として牛乳の無料配布が行われ、参加者は最後まで大会を楽しんでいました。



豊かな森と海を育てよう！ 「北海道植樹の日・育樹の日制定記念」 八雲町植樹祭

5月25日、入沢地区町有林にて八雲町植樹祭が開催されました。晴天のもと、子ども28名を含む170名が参加し、町有林0.75haにトドマツ1,500本を植樹しました。

また、木育の一環として、高性能林業機械の展示、実演や鳥のさえずりのように聞こえる「バードコール」づくりの体験も行われ、子どもたちに人気を集めていました。

参加者は豊かな森が育ち、未来も緑豊かな八雲であることを願い、額に汗をかきながら1本ずつ丁寧に植えました。



目指せ耳吊り世界一！ 第3回八雲世界耳吊り選手権

6月16日、はぴあ八雲にて耳吊りの腕を競う第3回八雲世界耳吊り選手権が開催されました。

今年はアゲピン、テグス、ループの3部門に加え、新たに初心者部門が設けられ、町内外から約60名が参加し、熱戦が繰り広げられたほか、大食いタレント、アンジェラ佐藤さんとの大食い対決や海産物販売、ホタテの大量死を踏まえ、漁業者の現状についてのトークショーなども行われました。

実行委員会の赤井さんは「今後はさらに八雲町、そして八雲町の漁業を広めていくべく耳吊り選手権だけでなく、八雲の海岸清掃や山車行列参加など色々な活動を行っていく予定」と話していました。



気持ちのこもった温かな座布団！

サロンすずらんがスクールバス待合所へ手作りの座布団を寄贈

熊石相沼町の渡部伸子さん宅を拠点として活動する住民主体の集いの場「サロンすずらん」では、地域貢献活動の想いから、使用していない着物を再利用した座布団を製作し、相沼地区のスクールバス待合所へ寄贈しました。

集いの場は、毎週水曜日に開催されており、参加者は「みんなの顔を見ると安心する」「みんなが集まるとよく笑うので楽しい」と、毎週会えるのを楽しみにしており、これからも地域に貢献できる取り組みをしていきたいと話していました。

